

妊婦のための 新型コロナウイルス感染症予防

問い合わせ 健康づくり課 ☎229-3310 FAX229-3346

妊娠中に新型コロナウイルス感染症に感染したとしても、基礎疾患がなければ症状などは同年代の妊娠していない女性と変わらないといわれています。また、おなかの赤ちゃんへの感染は、まれであると考えられています。

しかし、妊娠後期に感染すると早産の可能性が高まり、妊婦本人も一部の人は重症化することが報告

されているため、引き続き妊婦やその周囲の人も感染症予防を徹底しましょう。

妊娠中の人は、気になることや困ったことがあったら、不安を一人で抱え込まずに、かかりつけの医療機関や保健センターに気軽にご相談ください。



妊婦とその周囲の人(家族など)に気を付けてほしいこと

感染予防対策を行いましょ

通勤や健診などの外出時には、手洗い、マスクの着用、手指の消毒などの感染症対策をしっかり行いましょう。また、密閉・密集・密接の3密を避けてなるべく人の多い場所に行くことを控えましょう。



ワクチンを接種して感染・重症化予防

妊娠中、授乳中、妊娠を計画中的人も、新型コロナウイルスの接種勧奨の対象とされていて、妊娠の時期を問わず接種が勧められています。日本で承認されている新型コロナウイルスワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器に悪影響を及ぼすという報告はありません。



感染を疑う症状がある場合

発熱、咳、倦怠感、息苦しさなどの比較的軽い症状がある場合でも、かかりつけ医や妊婦健康診査を受診している医療機関等に相談しましょう。



妊婦健康診査の頻度について

医師や助産師の指示のとおり受診してください。自身の判断で妊婦健康診査の頻度を変更することはやめましょう。おなかの痛みや出血、その他気になる身体症状がある場合には、妊婦健康診査を受診している医療機関にご相談ください。



新型コロナワクチンに関する問い合わせ先

- 津市のワクチン接種の手続きや予約
津市新型コロナワクチン接種予約・相談電話窓口
(コールセンター)
☎0120-059-550(8時30分~18時、土・日曜日、祝・休日也可)
- ワクチン接種前後の副反応に関する質問・相談
三重県新型コロナウイルスワクチン副反応相談窓口
☎224-3326(24時間対応可)

- ワクチンの安全性、有効性など制度全般
厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター
☎0120-761-770(9時~21時、土・日曜日、祝・休日也可)
- 津市ホームページ「新型コロナワクチン接種」

HP 津市 ワクチン 検索

